

クレディ・スイス、三浦哲也氏を シニアエグゼクティブに任命

東京、2019年9月5日 – クレディ・スイスは本日、クレディ・スイス証券会社ソリューション本部シニアエグゼクティブに三浦哲也氏が就任したことを発表しました。

三浦氏は、債券・為替・クレジット・株式・コモディティ等に関連する金融商品のセールス、トレーディング、商品開発業務を担うソリューション本部に所属し、シニアリレーションシップマネージャーとしてその知見と人脈を生かし、主に地域金融機関並びに地域金融機関の証券子会社へのカバレッジ体制強化と、ソリューションビジネス拡大の一翼を担うこととなります。

三浦氏は30年余りにわたる金融業界での経験を有し、日本の債券市場においてはセールス、ディーリング、市場分析、ストラテジー等、債券分野での幅広い知見を誇る第一人者です。大学卒業後に和光証券でキャリアをスタートして以来、直近はみずほ証券にて一貫して日本の債券市場に関わってきました。同証券では金融市場調査部長、チーフマーケットアナリスト、チーフ債券ストラテジスト、金融市場営業第二部長、金融資本市場部シニアエグゼクティブ等、要職を歴任し、*日経ヴェリタス*「債券アナリスト・エコノミストランキング」や、*Institutional Investor*「The 2014 All-Japan Research Team: Fixed-Income Strategy」等、トップ10に名を連ねる存在としてその地位を確立しています。また、日本証券アナリスト協会基礎教育委員会委員として、金融教育の向上、発展にも注力しています。

ソリューション本部共同本部長 営業統括部長の笹井智行は次のように述べています。

「三浦氏のこの度の就任を大変光栄に思っております。人口減少やマイナス金利政策の長期化等、地域金融機関経営を取り巻く環境は厳しいものの、それ故に地域金融機関の資金運用商品へのニーズはさらに高まることが予想されます。当社は地域金融機関の皆様のニーズに応える様々なソリューションを提供すべく、2018年6月に地域金融法人営業部を新設し、カバレッジを大幅増員するなど体制強化を図っております。日本の債券市場に深い見識を持ち、また地域金融機関とのお客様の長いリレーションシップを持つ三浦氏の参画により、その知見と専門性が当社ソリューションビジネスのさらなる拡大に寄与することと確信しています。」

2017年に債券本部と株式デリバティブ本部の統合により発足したソリューション本部では、円債から外債までの幅広い債券のマーケットメイク業務や、金利・為替・クレジット・株式等幅広い資産に連動したストラクチャード・プロダクトの開発、また個人向け・機関投資家向けの投資信託や、貯蓄性保険商品に関連した再保険ソリューションな

ど、多岐にわたるプロダクト、ソリューションをワンストップで提供しています。これまでも、日本の顧客向けに数多くの画期的で革新的な案件を手掛けており、ストラクチャード・リテール・プロダクト(SRP)アジア・アワード 2019 において、マニファクチャラー・アワード・アジア株式ベストハウス、並びにベスト・インシュアランス・ディールを受賞しています。

メディアからのお問い合わせ先：

クレディ・スイス 広報

能田映子 eiko.noda@credit-suisse.com, +81 3 4550 7054

クレアブ株式会社（クレディ・スイス広報代理）

恵木 マイケル倫太郎 credit-suisse-pr@kreab.com, +81 90 6486 7191

アジア太平洋地域におけるクレディ・スイスの最新情報はこちらから：

LinkedIn <https://www.linkedin.com/company/credit-suisse/>

Facebook <https://www.facebook.com/creditsuisse/>

Twitter @csapac

Credit Suisse AG

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関であり、クレディ・スイス・グループ（以下「クレディ・スイス」）の子会社の1つです。クレディ・スイスの戦略は世界屈指のウェルス・マネージャー、専門的なインベストメント・バンキング能力、母国スイスでの強力な存在感という強みの上に成り立っています。ウェルスマネジメントに対してバランスの取れたアプローチで臨み、成熟市場の多額の資産プールと、アジア太平洋地域とその他の新興国市場における資産の大幅な拡大を活用しつつ、スイスを中心に主要先進国にもサービスを提供しています。クレディ・スイスは、約46,360人の従業員を擁しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式（CSGN）はスイスおよび米国預託証券（CS）としてニューヨークで上場しています。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

www.credit-suisse.com